

市庁舎整備は

市民の合意と納得で

70億円も 借金して大丈夫？

市は、「専門会議」の報告を受け、市庁舎(市役所)「建て替え」を前提に整備を進めると表明しました。

しかし、市民からは「建て替えありきでいいのかわからない」との疑問や意見が寄せられています。

専門会議の報告書では、耐震補強による大規模改修が「参考」とされ、市民が判断する機会を奪ってしまいがちですが、選択肢に加えるべきです。

日本共産党が行ったアンケート(裏面に詳細あり)の「市庁舎整備」の設問では、「大規模改修」と回答した4割に対し、「建て替え」は、2割に過ぎませんでした。市の借金が、570億円

にもなっている中で、市庁舎の「建て替え」を実施すれば新たに70億円もの市債が発行されます。さらに借金積み立て30億円も加わり、市民の暮らし・福祉、市民サービスの低下は避けられません。

市民生活に重大な影響をもたらす問題を「建て替えありき」で進めても良いのでしょうか。

建て替えありきの 市民説明会

6月30日、市庁舎整備についての説明会が開催されました。

市の説明の後、会場から十数人が質疑・意見を述べました。大半が、市の「建て替え」方針に、反対あるいは疑問を述べているのに対し、建て替えに賛成との

意見はほとんどありませんでした。参加者の意見は、「どのような検討のもとで建て替えるのか」「財政への影響が全く分らない」「説明会で市民の意見を聞いて白紙に戻す考えはあるのか」などでした。

市は、これらの意見に対し、「検討委員会は、建て替えを前提に検討していく」として、建て替えか改修かについて、白紙からの再検討を否定しています。

滋賀県の近江八幡市では「市庁舎整備を白紙に戻す」と公約した市長候補が当選し、契約解除に踏み出して

います。八千代市でも、建て替えか改修かの正しい情報が提供されれば、市民の運動によって白紙に戻すことは十分に可能です。

米本団地から学校をなくすな

米本団地自治会は、4月29日開催の定期総会で「団地から学校をなくさないで」との「特別決議」を採択しました。

6月議会で日本共産党は、この「特別決議」をどう認識し、どう受け止めたのかを質問しました。市長は「アンケートでは約70%が賛成している。地域の皆さんはそれを望んでいる」と答弁しました。しかし、このアンケートは小中一貫校の是非を聞いたものであり、対象も保護者及び未就学児の保護者に限ったものです。

この答弁は、特別決議に



平和行進・市長も参加

UR団地の再生は住民優先で

UR都市機構は村上団地3街区1号棟〜15号棟を解体し更地にして、用地を売却する「団地再生」を理由に、居住者に2年以内に1・2街区の空き住宅に移転することを求めています。

「終の棲家として住んでいただくのに」「80歳を過ぎて一人暮らしで引越などできない」との声が上がっています。借家人は借地借家法によって「借家権」が保障されています。

日本共産党は議会で「市民である居住者の権利が損なわれないよう八千代市はURに申し入れること」を

植田 進

☎4871-9754
☎4851-5089

堀口 明子

☎7671-5030
FAX 4941-7810

いはら 忠

☎4881-7207
☎4941-8009



(日時) 奇数月 第3木曜日
午後2時~4時

(場所) 市役所4階 日本共産党控室

無料法律
相談会
専門家が相談に
応じます

ブラック企業雇用問題・サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・生活保護・地域の要求。何でもどうぞ! ※予約が必要です

就学援助助成制度 利用しやすいものに改善を

長年市民から要望が出されていた、就学援助助成制度の入学準備金が、今年4月から大きく前進しました。

一つ目は、入学準備金の増額です。

小学校 20,470円を40,600円へ

中学校 23,550円を47,400円へ

約倍の金額となりました。

二つ目は、これまでの6月支給から入学前の3月支給へと、実態に即した助成制度へと大きく前進しました。

しかし、八千代市では制度の利用率が4.8%で全国平均15.8%の3分の1と非常に低くなっています。ここには申請に対して「周囲に知られたくない」という心理的な問題が影響していると思います。誰もが申請できる制度であることを周知するように、利用率の高い先進自治体に習い、制度の案内とともに申請書をつけるように提案しました。答弁では「検討する」にとどまっています。

プライバシーに配慮した東京都大田区では、すべての小中学生に就学援助助成制度の案内と申請書を配布し、全員が申請書を提出するシステムとなっています。申請書を出した中で、条件を満たした方が助成を受けることができ、33%と高い利用率となっています。

「就学援助助成制度を受けるべき子どもがすべて利用できるようにする」そのことにより、家庭状況に関係なく子どもたちが学校に通い、教育を受けられる環境ができます。八千代市も大田区の事例にのっとった取り組みを行うべきです。

日本共産党

八千代市議団 ニュース

2018年(夏季号)

発行:日本共産党八千代市議団

☎047(483)1151

市役所議員控室 内線3416

kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

市政へのご意見、ご要望を
お寄せください

市民アンケート特集

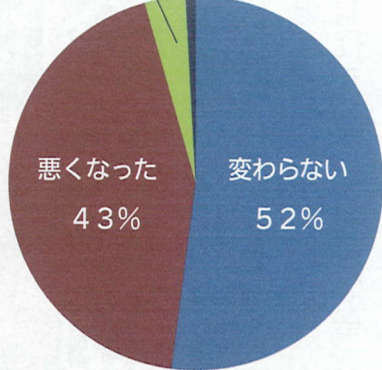
日本共産党八千代市議団が行ったアンケートに800名を超える方から回答が寄せられました。ご協力いただいたみな様、ありがとうございました。市民アンケートの結果について、ご

報告させていただくとともに、寄せられた地域でお気づきの具体的要望事項については街角ウォッチングなどを行い、市や県に要望書を提出しつつ実現に向け、全力で取り組む決意です。

暮らしについて

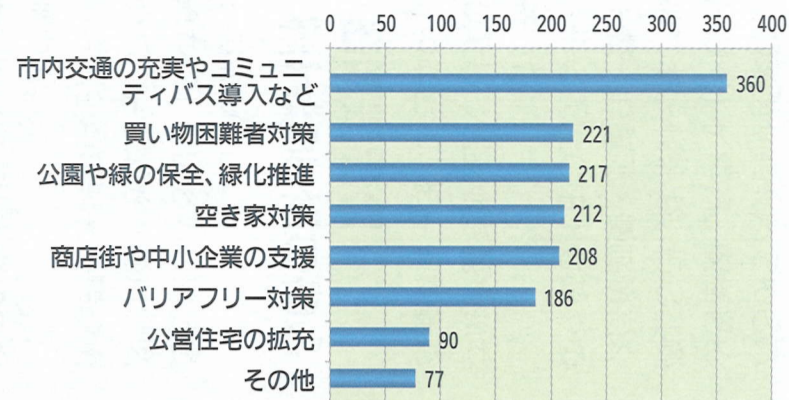
この1年であなたの暮らしは？

よくなった 4% 変わらない 52% 悪くなった 43% その他 1%



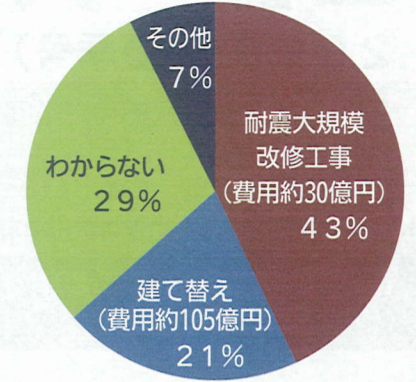
住宅・まちづくりについて

あなたが実施してほしいものを選んでください。(3つまで選択可)



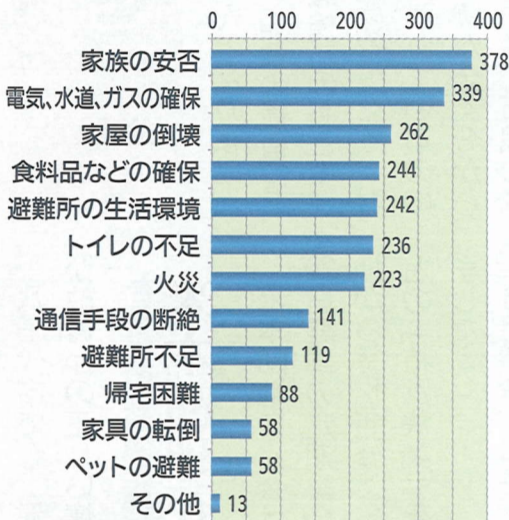
市庁舎整備について

あなたが実施してほしいものを選んでください。(3つまで選択可)



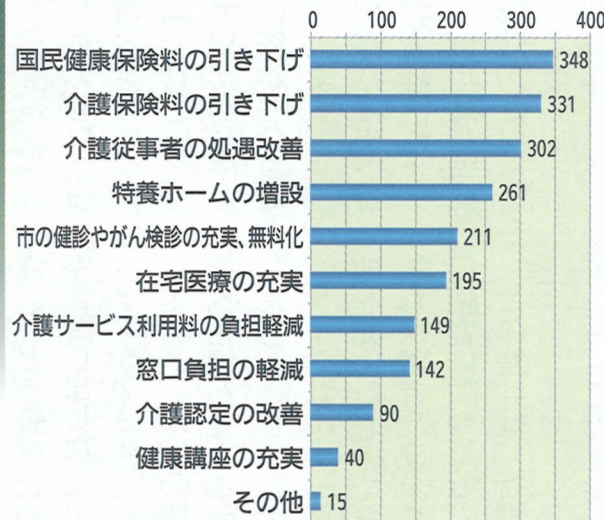
災害対策について

災害がおきた時にあなたが不安に思うことは何ですか。(3つまで選択可)



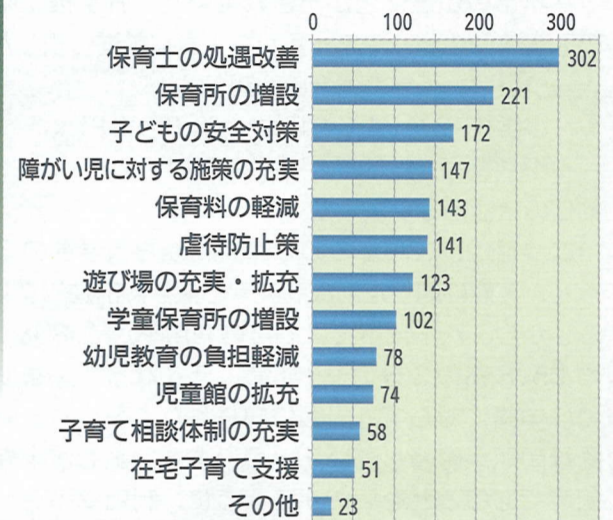
医療・介護について

あなたが実施してほしいものは何ですか？(3つまで選択可)



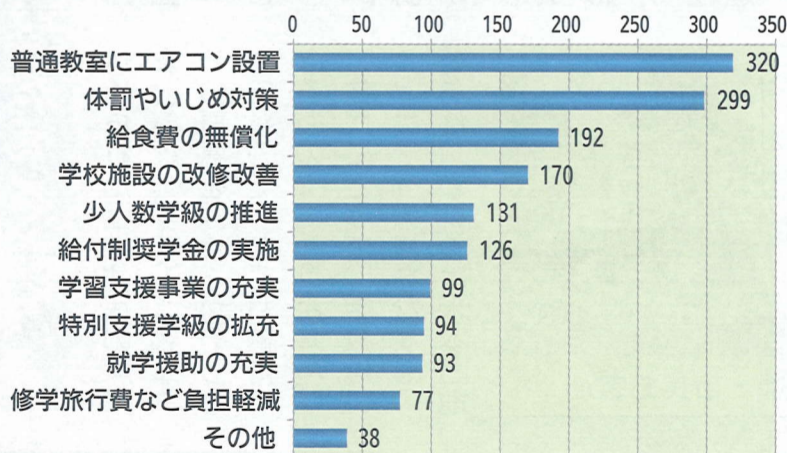
保育・子育て支援について

あなたが実施してほしいものを選んでください。(3つまで選択可)

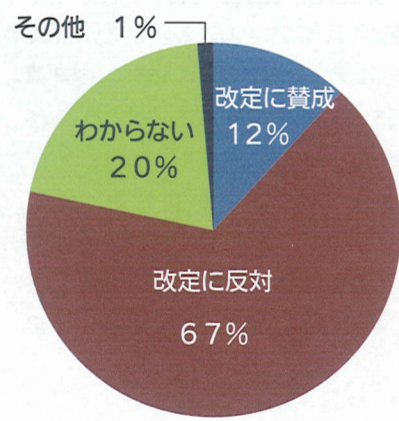


学校・教育について

あなたが実施してほしいものを選んでください。(3つまで選択可)



安倍内閣の憲法9条改定について



2018年6月議会 主な請願・発議案に対する議決結果

日本共産党市議団調べ

○:賛成 ×:反対 欠:欠席 議長は採決に加わらず 敬称略

議決結果	賛成人数 反対人数	日本共産党			公明党			自由民主党			市民クラブ			新未来			新・みんなの広場		伊東	奥山	菅野	高山	塚本	三田
		堀口	伊原	植田	木下	正田	末永	立川	緑川	江野澤	成田	西村	林利彦	小澤	林隆文	横山	河野	松崎						
オスプレイの配備を辞めるよう求める意見書	賛成 4 反対 21	○	○	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
憲法9条の改正を辞めるよう求める意見書	賛成 7 反対 18	○	○	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	
UR賃貸住宅に安心して住み続けられるよう求める意見書	賛成 7 反対 18	○	○	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	
東海第二発電所の運転期間延長と再稼働を認めないよう求める意見書	賛成 7 反対 18	○	○	○	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	
種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書	賛成 10 反対 15	○	○	○	×	×	×	×	×	×	長	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	
原子力規制委員会のモニタリングポスト撤去の決定を撤回し、継続配置を求める意見書	賛成 12 反対 13	○	○	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	
森友学園問題及び加計学園問題に関する疑惑に対して国会に真相を求める意見書を提出する請願	賛成 10 反対 15	○	○	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	